

G I G Aスクール構想の実現に関する要望（案）

学習指導要領が全面実施となるとともに、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響による休校に伴うオンライン授業の実施など、児童生徒の学び方が大きな転換期を迎える中、教育現場における I C T環境の整備が今まで以上に求められている。

国では、G I G Aスクール構想における「1人1台端末」整備の前倒しなど、補正予算を編成して各般の支援措置を講じているところであるが、教育現場や児童生徒の将来を見据えた I C T教育を推進するためには、端末の更新費用や家庭での通信費等も含めた I C T環境整備に必要な財政措置の拡充が必要である。

よって、国においては、児童生徒の暮らす地域や家庭の状況に左右されず、全ての児童生徒が平等に義務教育を受けられる環境を早期に整えるため、次の事項について特段の措置を講じるよう強く要望する。

記

- 1 全ての児童生徒が通信環境に左右されず家庭でのオンライン学習に取り組めるよう、回線使用料等の通信費について、国の責任において措置すること。
- 2 全国の教育現場で1人1台端末整備が一斉に進むことで、機器の在庫不足等が生じ、端末の調達が困難とならないよう、スムーズな導入について、国の責任において調整すること。
- 3 教育現場における I C T環境を持続するため、端末、周辺機器や校内ネットワークの維持・更新、セキュリティ整備及び通信回線使用に係る経費について、必要な財源を確保し、継続的に支援すること。
- 4 1人1台端末の効果を発揮しプログラミング教育等を推進するため、I C T支援員の配置充実や、I C T活用による教職員の指導力向上に資する必要な支援を講じること。
- 5 デジタル教科書の導入及び維持に係る財政支援を行うこと。

令和2年 月 日

新潟県市長会会長

見附市長 久住時男